



スポーツ・コンベンションセンターについて

現在の県体育館が抱える課題

施設が老朽化し、補修費もかさんでいる。

施設が手狭で、県大会の開催すら難しい



スポーツ・コンベンションセンターの規模・機能等の検討

県内外の各分野の専門家で構成される総合体育館基本構想検討委員会において、まずは施設の規模や機能などについて専門的・客観的な検討を行っていただきました。

①施設の規模

各種競技の基準により、**県大会が支障なく開催できる最小限の大きさ**が必要



バスケットボールコートでメインアリーナ4面、サブアリーナ2面の計6面

②施設の機能

スポーツ利用

県民の皆様へ、不便なく、安心、安全、快適に**スポーツに親しむ場を提供**



一般の公共施設と同様に、**県が一定の運営費を負担**。
県民の皆様は、**安い料金で施設を利用可能**。

スポーツ利用は年間7割程度。残りの3割を有効活用。

コンベンション利用（コンサートなど）

スポーツ利用が見込まれない日に、これまで県内で開催できなかった規模の**コンサートや展示会**などを開催



新たな賑わいの創出
中心市街地の活性化
施設利用料収入が増え、施設の**運営収支が改善**

③新たな価値

- ・桜島や錦江湾を眺められる展望スペース、カフェなどの癒やしの空間を創出し、**さらなる賑わいを創出**
- ・災害発生時の避難所など、**災害に対応できる施設**
- ・障がい者や高齢者を含む全ての方々が、**安全に利用しやすい施設**（ユニバーサルデザイン）
- ・地球温暖化対策として、**カーボンニュートラルの実現に向けた施設**
- ・本港区エリアにふさわしいデザインを備えた**鹿児島のシンボルの施設**

④整備予定地

- ・全ての県民が利用しやすい場所に整備するため、離島や大隅地域をはじめ県土全域からの「交通利便性」、「宿泊・商業施設の集積状況」など客観的な評価項目に基づき、候補地を選定

→鹿児島港本港区の

ドルフィンポート跡地等を候補地に

※場所の選定段階では、県民の皆様からの意見募集を実施



スポーツ・コンベンションセンター



スポーツ・コンベンションセンターってよく聞くけどなんのこと？
建設費が上がっていると聞いたけど大丈夫なの？
など、そんな質問にお答えします。



▲もっと詳しく
知りたい方はこちら

Q1

スポーツ・コンベンションセンターってなに？

A

老朽化した県の体育館を建て替え、スポーツ利用だけでなく、これまで県内で開催できなかった規模のコンサートやイベント、展示会など多目的に利用できる施設です。

Q2

コンベンションの機能をつけるから建設費が高くなるのでは？

A

体育館の施設をそのまま利用するものであり、コンサートなどで有効活用するからといって建設費が高くなるということはありません。

Q3

建設コストが大きくなっているのであれば、身の丈にあった規模の施設にすべきでは？

A

県の体育館としては、県大会を支障なく開催できる規模が必要です。そのために必要な最小限の規模を、基本的な整備の方向性をとりまとめた基本構想で定めています。

Q4

人口は減少する見込みなので、規模を縮小すべきでは？

A

将来の人口減少を見据えても、基本構想で定めた規模が必要です。スポーツ・コンベンションセンターで開催が見込まれる県大会等は、地区予選を勝ち抜いたチームや選手が参加するため、人口減少に比例して、同センターの利用者数が一概に減少するものではありません。

Q5

なぜ赤字となる施設を整備するの？
なぜ税金で運営費を負担するの？

A

スポーツ・コンベンションセンターのような公共施設は、県民の皆さまの利用料金を安く抑え、自治体が運営費を負担するのが一般的です。
なお、同センターをコンサートなどでも有効活用することにより、施設の利用料収入が増加し、運営費の低減につながります。

Q6

なぜドルフィンポート跡地に整備するの？

A

南北600kmの本県において、離島を含む県内各地の全ての皆さまが最もアクセスしやすいなどの理由から整備予定地を選定しました。同地は、中心市街地に隣接しており、中心市街地における賑わい創出・活性化にも寄与する施設であると考えています。



▲もっと詳しく！
～選定までの流れ～

Q7

ドルフィンポート跡地は津波の心配はないの？

A

津波は想定されていません。
これは、ドルフィンポート跡地より海側にあるウォーターフロントパークのボードウォーク部分の標高が想定される津波高より高いからです。

Q8

県民の声を聞くべきでは？
もっと丁寧に説明すべきでは？

A

基本構想の策定（R4.3）に当たっては、複数回にわたり県民の皆さまからご意見を募集し、適切に反映しました。
同構想の策定後も、ホームページはもとより、複数回に及ぶテレビや紙面、SNSでの情報発信、100回を超える関係者等への説明など、あらゆる機会を通じて周知を行い、その中で、県民の皆さまのご意見も伺ってきました。
引き続き、県政出前セミナーを実施するなど、情報発信に努めてまいります。



県政出前セミナー
についてはこちら

Q9

スポーツ・コンベンションセンターを整備しても、県の財政は大丈夫なの？

A

整備に係る毎年度の負担額は10億円程度と想定され、整備を進めても持続的で安定的な財政運営は可能です。



▲もっと詳しく！
～県財政への影響～

【参考】
県庁舎や県民交流センター、農業開発総合センターに係る県債の償還が近く完了する予定。
これらに係る公債費計16億円が減少する見込み。

県としては、県大会が開催できる必要最小限の規模のスポーツ・コンベンションセンターの整備を推進したいと考えています。